

ALTが 30U/Lを超えたら 医師にご相談ください。

ALTは肝臓の状態をあらわす数値。
肝炎ウイルス感染、肝炎、肝硬変、肝がんなどを
疑うための目印です。



日本肝臓学会では、
「Stop CLDせんとくんのOver 30 (ALT > 30u/L)」の
宣言を発出し、慢性肝臓病 (CLD) の早期発見を目的として、
かかりつけ医への受診促進を呼びかけています。

ALTは肝臓の状態をあらわす数値です

肝臓で重要なはたらきをしている酵素である「ALT」を測定することによって、肝臓に異変が起きていないかを知ることができます。ALTが30U/Lを超えたら**要注意**。肝臓の病気が隠れているかもしれません。

◆ ALTが30U/Lを超えた場合に疑われる主な病気

- ウイルス性肝炎 (C型肝炎、B型肝炎)
- 脂肪肝 ※肥満・糖尿病・脂質異常症・高血圧なども併せて認められることがあります
- アルコール性肝障害
- その他の肝障害 (薬剤性肝障害、自己免疫肝疾患など)

一般社団法人日本肝臓学会。第59回日本肝臓学会総会。奈良宣言特設サイト
https://site2.convention.co.jp/jsh59/nara_sengen/ (2023年6月28日閲覧) より作成



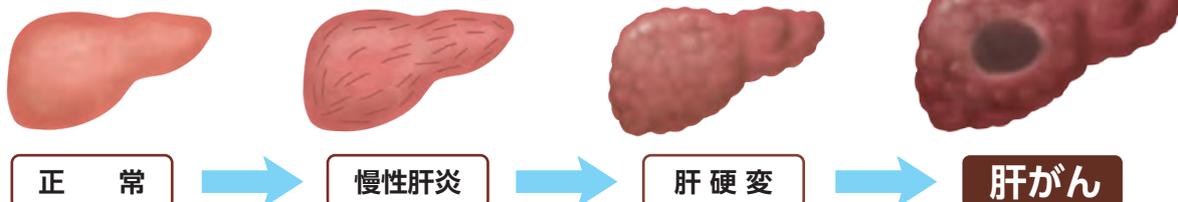
自覚症状がなく進行することが多い肝炎

肝炎ウイルスなどが原因で肝臓に炎症が起こると、やがて炎症は慢性的なものとなり、その後、肝硬変、肝がんへと進行する可能性があります。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれており、自覚症状がないにもかかわらず肝炎が進行することがあるので注意が必要です。



肝炎ウイルスから発症する可能性のある病気



一般社団法人日本肝臓学会。奈良宣言 2023 リーフレット。 https://site2.convention.co.jp/jsh59/nara_sengen/leaflet.pdf (2023年6月28日閲覧) より改変
 ※イラストはイメージ

ALTが30U/Lを超えたら医師にご相談を

健康診断などの血液検査で、
**ALTが30U/Lを超えていたら、
 かかりつけの医師に相談**しましょう。

